# 平成 30 年度　グループホーム（ゆうゆう館、れん、かなで）　事業報告

## 1　事業計画に基づく取り組み状況

### 第三のホーム設置に向けた取り組み

計画要旨

第三ホームの建設については、初回入札の不落を受け平成 30 年 3 月の二回目入札にて建設業者の決定に至り、4 月下旬より建設に取り掛かる予定が立った。9 月竣工、10 月開所が見込まれており、そのオープンに向けて諸準備を怠りなく進めたい。

特に、支援の核となる世話人（深夜勤務を伴う非常勤職員）については 3～4 人の採用が必要となる。福祉・介護関係の求人難が深刻化している中ではあるが、早期に取り掛かり必要な人材の確保に努めたい。併せて、入居者の状況次第で外部のヘルパーによる諸介助を必要とすることから、早期の調整依頼をして参りたい。

なお、世話人は未経験の新採用者が中心となることが予想されること、いきなり定員数の入居者を入れることはせず、一定の時間を掛けながら徐々に増やしていくこととしたい。

取組結果

法人として 3 つ目のホームを、予定どおり 30 年 10 月に開所することができました。ホーム名は「かなで」としています。"入居者それぞれの暮らしをそれぞれの持つ音で奏でる"の意です。

不安視された世話人の採用については、必要となる人員数（4 人）が確保できました。4 人ともに障害者グループホームでの仕事は未経験でしたが、それぞれ高齢者介護や精神障害者支援などの経験があり、それらを活かした中で入居者の支援に当たってくれています。

また、入居定員は 7 人ですが、現時点で 5 人（全員がライン工房利用者）が入居しています。残り 2 室についてですが、そのうち 1 室をこの 4 月より、先々のホーム入居を予定する方向けの宿泊体験の部屋としており、ライン工房利用者 2 人の体験が始まっています。残るもう一部屋については、まだ外部に向けて広く募集を掛けてはいません。青空が支援している障害者の中で入居が必要な方などが現れれば検討していくことになりますが、ホームの安定した日常の推移を作り上げている途中でもあり、今のところは早期の満室を図る動きは採っていません。

なお、グループホームについては平成 13 年（ゆうゆう館）、23 年（れん）、そして 30 年（かなで）と設置してきており、現段階では更なる設置予定はありません。しかしながら、社会就労センターライン工房の利用者において将来的に需要が高まるようであれば、いずれ 4 つ目のホームの設置を検討していくことになるでしょう。その時点での財務状況が許し、また、将来にわたる職員確保の見通しを担保することが前提ですが、その設置の余地は残していきたいところです。

## 2　入退去状況

ゆうゆう館：　12 月に、宿泊体験用の部屋にライン工房利用者が入居。これにより体験室を新設のかなでに移す。満室。

れん：　8 月末に 1 人が退去（結婚し借家に移る）、10 月よりライン工房利用者が入居。満室。

かなで：　10 月に 4 人、11 月に 1 人が入居。2 室空室。